

暑い夏を健やかに過ごせますように

～四山神社で「願立祭」「茅の輪くぐり」～

6月13日(月)四山神社で「願立祭」と「茅の輪くぐり」の行事が行われました。願立祭は向暑に向かい疫病を防ぎ、無病息災を祈る神事で、茅の輪くぐりは今年半年間の罪穢れを祓い清める神事です。

境内には茅を束ねて作られた直径2メートルの茅の輪が設けられました。参拝した人たちは、唱え言葉の後に決められた手順で茅の輪をくぐり、社殿でお祓いを受けました。9月6日(火)には願いが叶った感謝の祭り「願成就祭」が行われます。



▲今年も暑い夏になることが予想されています。この夏を健康に乗り切りたいという住民の皆さんが参詣しました。

花菖蒲が生みだす地域のにぎわい

～第3回助丸区花菖蒲祭り～

6月4日(土)、助丸区花菖蒲園で花菖蒲祭りが開催されました。この花菖蒲園は、助丸区花菖蒲愛好会の皆さんが、休耕田の活用と花菖蒲を育てることで、地域の高齢者の生きがいづくりを目的としています。

花菖蒲園には25種類3千株の花菖蒲が植えられていて、色とりどりの花菖蒲が、祭りの開催に合わせてように咲き誇り、訪れた人を歓迎していました。

アトラクションでは踊りや荒尾太鼓が披露され、軽快なリズムで観客を魅了しました。



▲アトラクションで披露されたフラダンス。花のあでやかさに負けないダンスに、観客から拍手がわきました。

▼南三陸町にて。子どもたちと折り紙をしながらコミュニケーション。



震災から3カ月が経過し、対応した被災者の関心は、これからの生活に向けて始まっています。仮設住宅などへの転居も進んでいます。

市では県を通じて、2人の職員を東関東震災の被災地へ派遣しました。東松島市への派遣では、罹災した住宅の応急修理の受付や公的支援制度の相談事務を行い、南三陸町では、二次避難所での健康相談や個別訪問を行いました。



西林 美沙代
保健センター(保健師)
6月7日～14日
宮城県
南三陸町へ派遣



梶原 隆司
大牟田・荒尾清掃施設組合事務局
6月4日～15日
宮城県
東松島市へ派遣

Proud! Japan

東松島市と南三陸町に職員を災害派遣しました

Proud! Japan
東日本大震災の復興を支援しよう

がんばろう日本!

東日本大震災の復興をみんなで支えよう
～荒尾市の被災者と被災地への支援と現地の様子～

ですが、今後の生活や健康に不安を感じている人も多いそうです。医療体制は整い始めていますが、震災前のような十分な医療が受けることが難しい状況です。

被災地の自治体では、自治体職員の継続的な支援が必要とされているということです。市では今後も職員を派遣し、支援に努めていきます。

Proud! Japan

荒尾観光大使 関島秀樹さん
被災地でチャリティーライブ



▲訪れた関島さんを前畑市長が激励しました。

5月30日(月)、荒尾観光大使でシンガーソングライターの関島秀樹さんが前畑市長を訪れ、被災地でチャリティーライブを行うことを報告しました。

チャリティーライブは6月22日(月)～23日(月)、4県19市町、20カ所の避難所で行われました。

被災地と被災者を支援したいという関島さんの思いは歌となり、被災者の皆さんを励ました。

古民家と生け花のコラボレーション

～宮崎兄弟生家華展「花 一輪への想い」開催～

6月2日(木)～5日(日)、宮崎兄弟の生家で、華展が開催されました。

宮崎兄弟の生家施設を市民の皆さんに活用してもらおうと企画され、2日間でおおよそ130人が訪れました。華道会会員の作品44点(前期・後期各22点)と、荒尾第一小学校の児童作品3点が展示されました。5日には体験コーナーが設けられ、おおよそ40人が参加しました。

生家の縁側を彩った個性豊かな作品が、訪れた人の目を惹き寄せました。



▲生け花体験では、大人も子どももそれぞれの感性を發揮し、真剣な表情で花を生けて楽しみました。

働く女性の家での日頃の学びが花開く

～ふれあいエポック・荒尾まつり～

6月12日(日)と13日(月)、働く女性の家で「ふれあいエポック・荒尾まつり」が開催され、同施設の自主講座の受講生が日頃の学習の成果を発表しました。

12日の演技部門では、出演者がエアロビクス、日本舞踊や民謡などを披露し、観客から大きな拍手が送られていました。

両日開催の展示部門では、書道や油絵、珍しい絵手紙などが展示されていました。

13日に開催されたチャリティーバザーの収益は、東日本大震災の義援金に充てられます。



▲軽やかなエアロビクス。熱気を帯びた演技発表が繰り広げられ、訪れた人は大いに楽しんでいました。